

デタラメな「動力車新聞」号外

動労千葉に敵対する革マル反動分子は「動力車新聞」号外を家庭郵送し、財政上の問題を一方的に取り上げ、動労千葉が財政的に破綻するかのようデマをくりかえしています。私達は、一二月以降、支部代表者会議等での確認によって組合費の本部への上納を凍結してきました。しかし、このことは、極めて正しかったことが、今、明らかになっています。

当然の一二月以降の組合費凍結！

すなわち、千葉地本に敵対する分子は、昨年末以降ありとあらゆる千葉地本への攻撃をくりかえし、その都度、私たちが動労千葉一四〇〇組合員の一丸となった闘いの前に粉碎され、撃退されてきました。

しかし、あくまでも千葉地本破壊排除をくむ彼ら革マル分子は、三月二〇日中央本部の名をもって千葉地本執行部の執行権停止を発動し、さらに、三月三〇日第一〇三回臨時中央委員会において、ついに、関川委員長以下四名の「除名」を含む全執行部、地青三役、及び片岡津田沼支部長の一四名に対する統制処分を行ってきました。

一二月以降の凍結してある組合費を新組合結成準備資金にあてる

私たちは、第三三回臨時地本大会をもって、執行権停止をキッパリと拒否し、現執行部を承認し、自らの労働条件と生活と利益を守るため、当局との間の団体交渉権・労働協約・協定締結権さらには、指令権を堅持するための新組合結成を満場一致決定し、一二月以降、凍結してある組合費の一部をもって「新組合結成準備資金」とすることを確認しました。

本部が不当にも犠救、動力車共済、役職員の賃金などの支払いをストップするという状態の中で、われわれが、一二月以降凍結してある組合費などの一部を「新組合結成準備資金」としてあてることは当然です。

動労千葉の財政は磐石！

組合費は、いままで本部に納入する金額が年間約一億一千万円で、

本部から地本に交付される金額がその半分の約五千万円でした。

従って、新組合結成以降の動労千葉の財政は、磐石であり、異状なインフレ等がないかぎり、組合費を増額する必要は、全くないといえます。

また、本部が凍結している犠救、補償、賃金カットの補てん、人件費などは、現在の組合費で充分に運営してゆくことができます。

さらに、**総合共済制度**は、一四〇〇組合員で充分により充実した内容をもって、健全に運営することができま

組合基金については、現在、最高、一人一万六千円を本部へ積立てていますが、組合員個人の積立金として凍結してある組合費を充当するのは当然であります。

そして、今後とも二万円までの積立てを継続することとなっています。結論的に言えば、組合費を動労の全国の組合員以上に値上げする必要は全くなく、共済、犠救その他支給されるべき金額がこれまでも全く同じように支給されることもまた当然であり、その財政的基盤は万全だということです。

3・30結成大会の方針のもと、動労大改革にむけ奮闘しよう！

「動力車新聞」号外に書かれている内容がいかにデタラメであるか、もはや明らかであります。私たちの財政的基盤は万全であります。

3・30臨時大会と動労千葉結成大会で確認された方針にもとづき、全国の心ある仲間とともに労働者の生活と権利を守る正しい動労運動をつくりあげてゆこうではありませんか。

県会議員候補(動労重点地区)

成田市	社会(新)	小川	賢
船橋市	社会(新)	松本	正二

4月8日投票

労農連帯を一層強め、三里塚・ジェット闘争を貫徹しよう！

動労千葉の財政は磐石

